



2021年6月10日

各 位

会社名 東京インキ株式会社
代表者名 代表取締役社長 堀川 聡
(コード番号 4635 東証第2部)
問合せ先 管理部門理財部長 中村 真次
(TEL. 03-5902-7652)

(訂正) 「2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2020年8月6日に開示いたしました「2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日(2021年6月10日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は_____線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上

(訂正後)



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月6日

上場会社名 東京インキ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4635 URL <https://www.tokyoink.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀川 聡
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部門理財部長 (氏名) 中村 真次 TEL 03-5902-7652
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	8,736	△16.4	△24	—	110	△43.1	65	△41.2
2020年3月期第1四半期	10,450	△6.5	96	△60.6	194	△44.9	111	△54.7

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 138百万円 (12.7%) 2020年3月期第1四半期 123百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	25.01	—
2020年3月期第1四半期	41.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	43,599	23,925	54.5	9,059.90
2020年3月期	43,259	23,901	54.9	9,053.66

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 23,767百万円 2020年3月期 23,751百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,000	△10.0	△60	—	20	△93.4	10	△94.9	3.81
通期	40,000	△6.0	340	△42.6	1,130	39.8	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想につきましては、本日（2020年8月6日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」もあわせてご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	2,725,758株	2020年3月期	2,725,758株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	102,405株	2020年3月期	102,382株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	2,623,368株	2020年3月期1Q	2,702,115株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年6月30日）におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、政府から緊急事態宣言が発令され、不要不急の外出自粛の要請により、経済活動は停滞し、個人消費等が急速に減少いたしました。また、当該宣言解除後においても、回復に向けた動きは非常に鈍く、景気の先行きは極めて不透明な状況で推移しております。

このような状況の中、当社グループは、既存の事業領域における競争力強化と顧客満足の上昇および周辺事業領域への拡大に引き続き努めてまいりましたが、大変厳しい状況で推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高が87億3千6百万円で前年同四半期比17億1千3百万円の減収（16.4%減）となり、営業損失は2千4百万円（前年同四半期は9千6百万円の営業利益）、経常利益は1億1千万円で前年同四半期比8千3百万円の減益（43.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6千5百万円で前年同四半期比4千5百万円の減益（41.2%減）となりました。

次に、セグメント別に概況をご報告いたします。

(インキ事業)

オフセットインキおよび印刷用材料は、選択と集中に取り組む中で売り上げ確保に努めましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により折込チラシ、旅行関連、イベント企画等の印刷物が想定以上に減少し、数量および売上高は前年同四半期に比べ大きく減少いたしました。

グラビアインキは、新型コロナウイルス感染症の影響により食事のテイクアウトを含めた在宅での食生活指向が高まり、軟包装用環境対応製品等の戦略製品は健闘いたしました。紙用グラビアインキが贈答用分野の落ち込みが大きく、数量および売上高は前年同四半期に比べ減少いたしました。

インクジェットインキは、受託インキが主要市場である北米やEU諸国で新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減少し、産業用機能性インキにおいても、建材用需要の減少により、数量および売上高は前年同四半期に比べ減少いたしました。

この結果、インキ事業の売上高は、24億3千4百万円で前年同四半期比8億4千9百万円の減収（25.9%減）、セグメント損失は2千2百万円（前年同四半期は3千4百万円のセグメント利益）となりました。

(化成品事業)

マスターバッチは、新型コロナウイルス感染症の影響により一部の食品用途や衛生材関係で好調な製品はありましたが、自動車用途が生産台数減少が大きく影響し、また、化粧品・日用品向け、一般包装資材関係についても、国内での外出自粛や海外からの人的往来が途絶えていることが影響し、数量および売上高は前年同四半期に比べ減少いたしました。

樹脂コンパウンドは、電子機器関係が好調であったものの、新型コロナウイルス感染症の影響による自動車の生産台数減少が大きく影響し、数量および売上高は前年同四半期に比べ減少いたしました。

この結果、化成品事業の売上高は、41億9千4百万円で前年同四半期比11億5千4百万円の減収（21.6%減）、セグメント利益は2億1千5百万円で前年同四半期比2億2千3百万円の減益（50.9%減）となりました。

(加工品事業)

ネトロン工材は、水処理用資材の輸出需要増加等により、売上高は前年同四半期に比べ増加いたしました。

ネトロン包材は、事業拡大により、売上高は前年同四半期に比べ増加いたしました。

一軸延伸フィルムは、新型コロナウイルス感染症の影響による消費者の外出自粛により贈答用包装用途が減少したため、売上高は前年同四半期に比べ減少いたしました。

土木資材は、独自工法の確立に加え、災害復旧需要に対応したジオセルおよび周辺部材が採用され好調に推移し、売上高は前年同四半期に比べ大幅に増加いたしました。

農業用資材は、市況低迷により、売上高は前年同四半期に比べ減少いたしました。

この結果、加工品事業の売上高は、20億9千5百万円で前年同四半期比3億5千3百万円の増収（20.3%増）、セグメント利益は2億5千8百万円で前年同四半期比1億7千8百万円の増益（221.4%増）となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業は、賃貸物件の売却により、売上高は1千1百万円で前年同四半期比6千3百万円の減収（85.2%減）、セグメント利益は7百万円で前年同四半期比3千2百万円の減益（81.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は435億9千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億3千9百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金の増加10億9千5百万円、受取手形及び売掛金の減少15億1千3百万円、たな卸資産の増加5億5千6百万円、有形固定資産の増加7千6百万円及び投資有価証券の時価上昇等に伴う増加1億4千4百万円等によるものです。

負債合計は196億7千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億1千4百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少8億2千5百万円、短期借入金の増加19億1千万円、未払法人税等の減少2億4千8百万円、賞与引当金の減少3億6百万円及び長期借入金の減少2億9千5百万円等によるものです。

(純資産)

純資産の部は239億2千5百万円となり前連結会計年度末に比べ2千4百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金の減少4千8百万円及びその他の包括利益累計額の増加6千4百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期第2四半期(累計)及び通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、合理的に算出することが困難であるため未定とさせていただきますが、日本国内においては、緊急事態宣言解除後、社会・経済活動が再開しつつある状況を受け、第2四半期以降、徐々に影響が縮小していくとの想定のもと、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき連結業績予想を算定いたしました。

詳細につきましては、本日(2020年8月6日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,577	2,672
受取手形及び売掛金	14,848	13,334
商品及び製品	4,248	4,655
仕掛品	1,743	1,767
原材料及び貯蔵品	2,208	2,334
その他	305	309
貸倒引当金	△28	△26
流動資産合計	24,903	25,048
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,863	4,819
機械装置及び運搬具(純額)	2,459	2,476
工具、器具及び備品(純額)	421	407
土地	3,081	3,106
リース資産(純額)	244	234
建設仮勘定	971	1,073
有形固定資産合計	12,042	12,118
無形固定資産		
その他	664	668
無形固定資産合計	664	668
投資その他の資産		
投資有価証券	4,221	4,365
繰延税金資産	61	51
その他	1,423	1,403
貸倒引当金	△57	△56
投資その他の資産合計	5,649	5,763
固定資産合計	18,355	18,551
資産合計	43,259	43,599

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,667	7,842
短期借入金	2,390	4,300
1年内返済予定の長期借入金	1,420	1,360
リース債務	110	105
未払法人税等	280	32
賞与引当金	430	124
未払消費税等	297	120
未払費用	807	845
その他	373	621
流動負債合計	14,777	15,352
固定負債		
長期借入金	3,141	2,846
リース債務	158	152
繰延税金負債	112	183
役員退職慰労引当金	228	228
退職給付に係る負債	771	741
その他	169	170
固定負債合計	4,580	4,321
負債合計	19,358	19,673
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,246	3,246
資本剰余金	2,526	2,526
利益剰余金	18,294	18,245
自己株式	△260	△260
株主資本合計	23,806	23,757
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	363	480
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	44	△57
退職給付に係る調整累計額	△463	△413
その他の包括利益累計額合計	△54	9
非支配株主持分	149	158
純資産合計	23,901	23,925
負債純資産合計	43,259	43,599

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	10,450	8,736
売上原価	8,795	7,321
売上総利益	1,654	1,414
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	423	393
賞与	94	96
福利厚生費	97	99
減価償却費	59	68
賞与引当金繰入額	48	48
退職給付費用	32	51
通信交通費	69	36
荷造及び発送費	293	257
その他	439	387
販売費及び一般管理費合計	1,558	1,439
営業利益又は営業損失(△)	96	△24
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	78	76
出資分配益	29	45
その他	10	37
営業外収益合計	119	161
営業外費用		
支払利息	8	8
為替差損	3	—
雑損失	0	8
その他	9	9
営業外費用合計	21	26
経常利益	194	110
特別利益		
投資有価証券売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産除売却損	13	14
特別損失合計	13	14
税金等調整前四半期純利益	182	96
法人税、住民税及び事業税	8	9
法人税等調整額	56	10
法人税等合計	65	20
四半期純利益	116	76
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	111	65

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	<u>116</u>	<u>76</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34	116
繰延ヘッジ損益	△1	△0
為替換算調整勘定	<u>21</u>	<u>△104</u>
退職給付に係る調整額	20	50
その他の包括利益合計	<u>6</u>	<u>62</u>
四半期包括利益	<u>123</u>	<u>138</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>117</u>	<u>130</u>
非支配株主に係る四半期包括利益	5	8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結会計期間より、ハヤシ化成工業株式会社は、合計の総資産、売上高、当期純利益及び利益剰余金等の連結財務諸表に及ぼす影響の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

また、東京ポリマー株式会社は、合計の総資産、売上高、当期純利益及び利益剰余金等の連結財務諸表に及ぼす影響の重要性が低下したため、連結の範囲から除外しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大により、当社グループと主たる関係性のある印刷業界や自動車業界の状況は、当社グループの足下の業績に売上高減少等の影響を及ぼしておりますが、第2四半期以降、徐々に影響が縮小していくものと見込んでおります。このような状況下、前連結会計年度の有価証券報告書（追加情報）に記載しました会計上の見積りの前提となる仮定については、重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計
	インキ事業	化成品事業	加工品事業	不動産賃貸事業	計	
売上高						
外部顧客への売上高	3,284	5,348	1,742	74	10,450	10,450
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	13	—	—	13	13
計	3,284	5,361	1,742	74	10,463	10,463
セグメント利益	34	439	80	39	593	593

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差額調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	593
全社費用（注）	△496
その他の調整額	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	96

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	インキ事業	化成品事業	加工品事業	不動産賃貸事業	計	
売上高						
外部顧客への売上高	2,434	4,194	2,095	11	8,736	8,736
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	11	—	—	11	11
計	2,434	4,206	2,095	11	8,747	8,747
セグメント利益又は損失(△)	△22	215	258	7	459	459

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差額調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	459
全社費用(注)	△484
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	△24

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。